



学校教育目標

- 進んで学習する生徒
- 明るく心やさしい生徒
- 体を鍛える生徒

『蕨東のあいさつひとつで笑東に』

東中だより

生徒数(名)
男子 177
女子 154
計 331

令和4年7月1日 第5号

Tel 048・442・5370 Fax 048・442・5377

さわやか相談室 Tel 048・445・6692

E-mail higasijh@warabi.ne.jp



勉強は何故するのか？

校長 岡部 慎一

日本の観測開始以来、最短の梅雨明けとなる報道がありました。学校でも、熱中症対策や感染症対策など、子供たちの健康面・安全面に配慮しながら教育活動を行っています。連日危険な暑さが続いておりますので、保護者・地域の皆様もお身体を大切になさってください。

さて、6月には1,2年生の校外学習を実施でき、また、運動部の生徒は学校総合体育大会二市大会や県南大会に出場しました。東中生が練習を重ねてきた努力の成果が発揮され、活躍が見られました。惜敗し、試合後悔しがったり、涙したりする場面もありましたが、試合中のプレイする姿は素晴らしく、ベストを尽くして感動する試合が多かったことを報告します。大会参加に係る健康観察や早朝からの送り出し、応援等ありがとうございました。大会結果等は裏面をご覧ください。この後、コンクール出場や作品を応募する文化部、運動部の県大会や新チームには、エールを贈りたいと思います。今年の夏も、目標をもって何かに夢中で取り組んだり、心がけた行動が習慣になったりすることを期待しつつ、子供たちの成長を楽しみにしたいと思います。そこで、成長に向けては、学びがつきものですが、勉強は何のためにするのでしょうか？学ぶ目的は何かを考えてみました。

- 1 新しいことが分かる(できる)ようになるのは楽しいから学ぶ。
- 2 大人になってしたいことがある。そのために必要だから学ぶ。
- 3 なりたい職業がある。その資格を取るために学ぶ。
- 4 ノーベル賞がもらえるような優れた研究をするために学ぶ。
- 5 世の中のためになるような基礎をつくるために学ぶ。
- 6 自分の家族を守り、幸せにするために学ぶ。
- 7 人生で成功するために、満足した人生のために学ぶ。
- 8 自分で納得のいく生き方を見つけ、そう生きていくために学ぶ。…… まだまだ、他にもあるかもしれません。

人間が100人いれば100通りの生き方があると思います。その生き方を実現するため、「学ぶ」ことを実践できるといいのだと思います。地球上に多くの生命が存在する中、他の生物に比べて人類が進化してきたのは、できないことや困難を何とかしようとして前向きに取り組んできたからといわれています。今の自分を高めようと創造的に取り組み、学ぼうとする人は、自分の目標に達したり、自分の描いていることに近いものを獲得したりできることが多いのではないのでしょうか。

大切なのは、難しい問題を研究する学者も、人々の健康を守る医師や看護師も、世間の人を感動させる小説家や役者も、美味しい料理を作る人も、安全で美味しい農作物を生産する人も、地震に崩れない道路や建物を作る人も、スポーツや芸術に打ち込む人も、時刻表通り安全に乗り物を操縦する人も、職業をあげればきりがありませんが、それぞれ工夫と改善の毎日、即ち学び続けていると思います。生徒たちにもこれらの人々のように、自分らしく生きる基礎をつくるために、「学び」を捉え、主体的に「学ぶ行動」を積み重ねて欲しいと願っています。

夏の交通事故防止運動 7月15日(金)～7月24日(日) 「人も車も自転車も 安心・安全 埼玉県」

県重点 ①子供と高齢者の交通事故防止 ②自転車の交通事故防止 ③飲酒運転の根絶

②「自転車に乗ったら車両 交通ルールマナーを守りましょう。」【自転車は】○車道の左側を通行(例外的に歩道を通行するときは車道寄りを徐行) ○一時停止を必ず守り、見通しの悪い交差点では、安全確認 ○子供も大人もヘルメットを着用 ○無灯火運転や二人乗り、並進、傘さし運転、イヤホンやスマートフォン等の使用、飲酒運転、妨害運転(あおり運転)は、絶対にやめましょう。○安全のために自転車損害保険等に加入。